

資格の大原

大原税理士受験生のための
情報誌

WIN

2023
受験対策 Vol.3

Certified Public Tax Accountant
information magazine

特集 1

第72回税理士試験の総括

特集 2

「講師の仕事を聞いてみよう！」 イベントを開催いたしました！



早いもので年が明けて2023年になりました。税理士試験の学習を初めてされる方、リトライされる方、年内から学習されている方と学習環境は様々ですが、「合格」という目標に向かって学習するということは変わりません。小さな成功体験を積み重ねて、合格を勝ち取りましょう！

今号では、第72回税理士試験の総括、11月下旬に開催した「講師の仕事を聞いてみよう！」イベントの内容を掲載しております。受験する科目の昨年度の試験問題の内容や合格答案を作成するためにはどのような対策が必要なのかを知ることができますので、ぜひご一読ください！

第72回税理士試験の総括

簿記論

(1)第72回税理士試験出題内容

①第一問

- 問1：総勘定元帳やキャッシュ・フロー計算書等の資料から取引を推定し、簿記一巡の手続きの理解を問う問題
- 問2：受託買付、委託買付取引及び返品権付販売取引の会計処理の理解を問う問題

②第二問

- 問1：共用資産を含む減損損失の認識及び測定を原則法により行った場合の金額算定を問う問題
- 問2：満期保有目的の債券の償却原価法（利息法）の計算、売買目的有価証券の洗替法・切放法の相違点、関係会社株式の帳簿上の仕訳及び連結財務諸表作成上で必要な持分法の仕訳の理解を問う問題

③第三問

決算整理前残高試算表から決算整理後残高試算表を作成する問題

(2)合格答案の傾向

第72回本試験は第一問はボリュームが多く、かつ一部に難易度が高い問題が出題された一方で、第二問はボリュームが少なく、全体的に難易度も平易な問題が出題されました。例年と同様、**難易度が低めの箇所**で**確実に得点を積み上げていく**ことが合格に必要であったと言えます。

また、第三問では工事契約の論点が絡む箇所は難易度が高い傾向にありましたが、**現金・預金、固定資産、有価証券、賞与引当金、退職給付引当金、リースを中心に得点を積み上げる**ことができたかが合否に大きく影響していると考えられます。

(3)第73回税理士試験に向けての学習方針

近年の本試験は、容易に解答が可能な箇所とそうでない箇所のメリハリがついています。**容易に解答が可能な箇所を速く、かつ、正確に解答**するために日頃から時間を意識して問題演習を行うことが重要です。併せて、**容易に解答可能な箇所については時間を掛けて正確に解答を行い、そうでない箇所には時間を割かずに後回しにする**といった解答戦略も非常に重要となります。4月期以降に解答する答練や過去試験問題では、**解答後に項目の見直しを行うだけでなく解答戦略の振り返り**を行うことで、合格答案を作成するため必要な解答戦略を身に付けていきましょう。

財務諸表論

(1)第72回税理士試験出題内容

①第一問

「収益認識に関する会計基準」からの出題でした。5つのステップの順序、原価回収基準の用語の指摘など、一般的な内容からの出題でした。

②第二問

「企業会計原則」や「連続意見書」、「資産除去債務に関する会計基準」から固定資産会計（減価償却の基本思考や資産除去債務等）に関する出題でした。個別には、総合償却を用いた計算問題、資産除去債務から生じる利息費用の損益計算書における取扱いなどの内容が問われました。

③第三問

会社法及び会社計算規則に準拠した計算書類の作成でした。販売費及び一般管理費の明細や個別注記表（貸借対照表に関する注記、損益計算書に関する注記）の内容も問われました。

(2)合格答案の傾向

第一問では、「収益認識に関する会計基準」における収益認識の考え方についての基礎的な知識や理解を空欄の穴埋めや記号選択を中心に問われる形式でした。難易度が高く、また、**問題文量が多く読み取りに時間がかかる内容**だったため、平易な**空欄の穴埋めや記号選択、用語の指摘**などで**確実に正答**できた方が合格されています。

第二問では、「企業会計原則」や「連続意見書」の**空欄の穴埋め**や資産除去債務に関する**計算問題**などで多くを正答する必要がありました。総合償却に関する記号選択や計算問題、資産除去債務から生じる利息費用の表示区分や資産除去債務に関するキャッシュ・フロー計算書の表示区分などは難易度が高い問題だったため、**記号選択や論述部分での部分点**を取れた方は非常に有利となりました。

第三問では、難易度は標準でしたがボリュームが非常に多い問題でした。**基礎的論点を正確に解答し、7割前後の得点を確保**する必要がありました。為替予約の振当処理では、直先差額の配分額は利息の調整として処理する必要がありました。また、有価証券では、**その他有価証券の評価差額について部分純資産直入法により処理する必要**がありました。これらの**出題されたことがない問題について対応**できた方は有利でした。

(3)第73回税理士試験に向けての学習方針

理論では、近年の傾向である**多くの記号選択や重要なキーワード**となる会計用語の指摘、抽象的な問いから問題文を読み取る文章作成問題に加えて**計算問題の事例**も出題されています。これらに対応するために会計基準などの理解を養うことに加え、**計算の知識も関連させて対応**していく必要があります。

計算では、**毎年頻出の基礎的論点**でベースとなる**得点を確保**しつつ、問題文をしっかりと読み込み、**未出題項目や新たな資料形式でも柔軟に対応**する必要があります。**過去試験問題の解答や直前対策時期の答練などは必須の対策**となります。

所得税法

(1)第72回税理士試験出題内容

①第一問

- 問1 納税義務者の区分及びその区分となる理由、その区分に応じた課税所得の範囲及び所得控除の種類
- 問2 純損失の繰戻し還付の個別問題

②第二問

不動産所得、事業所得、譲渡所得を中心とした総合問題

(2)合格答案の傾向

理論の**問2は基本論点の個別理論**であることから、**ここで如何に点数を伸ばせたかがポイント**でした。また、問1は資料が多く、一見すると難易度が高いように思いましたが、実際は**暗記していた理論をベースに解答が可能**であったため、落ち着いて解けば高得点が狙える問題でした。

計算はボリュームが多く、かつ、有利不利の判断も必要であり、かなり難易度の高い問題でしたが、理論にそれほど時間を必要としなかったため、**合格者の多くは基本論点に時間をかけ、点数を伸ばしていた**ようです。

(3)第73回税理士試験に向けての学習方針

理論に関しては、**範囲を絞ることなく、かつ、暗記の精度を高いレベルまで仕上げる**ことが大前提です。また、普段の学習から実際に書く練習を取り入れ、**用紙の必要枚数や解答の所要時間を把握**することも必要でしょう。近年では、個別理論はもちろん、通達や判例、時事問題、理由の記述などバラエティーに富んだ出題傾向にありますので、第73回試験対策に必要なものは講義内でお伝えし、ミニテストや直前模試等で練習する機会を設けていきます。

計算に関しては、**難しい項目にとらわれ過ぎず、基本項目を正確かつスピーディーに解答**することが合格への王道ですので、直前模試はこれを念頭に置いて取り組んでください。

また、これまでは時間配分を理論50分、計算70分とするのが定石でしたが、近年はこれにこだわり過ぎると点数が伸びない傾向にあります。従って、**理論ではタイトル挙げ、計算では素読み**で大まかな時間を把握するとともに、**解答順序と時間配分の判断**が大きな意味合いを持ってきますので、日々練習していきましょう。

(1)第 72 回税理士試験出題内容

①第一問

要求された法令を精度よく解答すること、また、計算過程を求められる問題では、適切な数値を用い、学習済みの論点については正確に金額を解答することが求められていました。設問ごとの具体的な論点は次の通りです。

問 1 (1)受取配当等の益金不算入制度(意義、適用除外、計算方法など)について
(2)みなし配当等、外国子会社配当等の益金不算入、有価証券の譲渡損益について各金額、計算過程、法的理由について述べる問題

問 2 (1)解散等の場合の還付請求の特例をテーマとした事例問題

(2)解散をテーマとした事業年度の期間、各種申告書の提出期限について

(3)未処理欠損金額に関する課税上の取扱い・法的理由について

②第二問

前回の本試験とは異なり、出題形式は総合問題形式で、別表四(総額欄、処分欄)及び別表一の解答が求められました。また、事業年度が9ヶ月間で、減価償却など様々な箇所に影響を及ぼすような問題でした。

出題項目としては、租税公課、納税充当金等、外貨建資産等、同族会社判定、使用人兼務役員判定、役員給与、減価償却、寄附金、外国税額控除、暗号資産などが出題されました。

(2)合格答案の傾向

理論の問 1 (1)については、理論暗記の高い精度を求められました。また、計算の知識を理論に応用できたかがカギでした。(2)については、みなし配当と外国子会社配当等の益金不算入を連動できたかがカギでした。

問 2 (1)については、解散等の場合の還付請求の特例の内容を理解できているか、そして欠損金の繰戻還付の理論暗記について高い精度が求められました。(2)は清算中の事業年度について精度高く求めて頂きたかったところです。(3)は残余財産が確定した場合の欠損金の取扱いについて精度高く解答できたかどうかポイントです。

計算については、暗号資産など未学習項目を除き、基本的な項目の出題が多く、正答すべき箇所の取りこぼしが如何に少なかったかがポイントです。

(3)第 73 回税理士試験に向けての学習方針

理論については、個別理論の正確な暗記はもちろん、適用要件など中心に計算と連動して学習を進めることが大事です。また、事例問題を分析し、どの規定が適用されるのか分析する力が必要です。そのためには各規程の本文を暗記するだけではなく、その規定の意味合いを理解し、説明できるようにして頂きたいと思います。そのためには理論テキスト本文のみならず、理論テキストの内容解説まで丁寧に目を通して頂きたいと思います。

計算については、基礎項目の習熟度を高めることが重要です。基礎項目をどんなパターンで出題されても対応できるようにしましょう。そのためには計算問題集の解答などのアウトプットのみならず、適宜計算テキストを読み直し、正しい知識をインプットし、またブラッシュアップして頂ければと思います。また、理論学習と合わせて適用要件、適用資産などの要件にも気を配るようにしましょう。

相続税法

(1)第 72 回税理士試験出題内容

①第一問

問 1 相続税の計算上、相続税の課税価格に加算される贈与財産の価額及び課せられた贈与税の課税上の取扱いを問う事例形式の問題

問 2 非上場株式等の贈与税の納税猶予及び免除の特例の趣旨、概要及び贈与者が死亡した場合を問う事例形式の問題

②第二問

財産評価を中心とした納付すべき相続税額を計算する総合問題

(2)合格答案の傾向

第一問の問 1 は、事例に即して贈与財産ごとに加算の有無等を正確に解答できていること。問 2 は、(1)の適用要件が解答できており、かつ、(2)が正確に解答できていること。第二問に関しては未学習項目以外の項目について、より多く解答できていることが合格答案の傾向として見て取れる状況でした。

(3)第 73 回税理士試験に向けての学習方針

近年の本試験の理論に関しては、問 1、問 2 ともに事例形式の出題が続いており、今後もこの傾向が続くことが予想されます。個別理論の理解や他の規定との関連なども把握し、事例形式の問題に即した解答方法をおさえた上で、概要説明を正確に行い、それに伴う関連条文を解答するための学習が重要となります。

計算に関しては、未学習論点に左右されずに、既学習項目を正確に素早く処理できるように基本的な論点を反復練習し、既学習項目は止まらずにスムーズに解答できるようにすることが重要です。また、既学習項目でも取捨選択を意識していきましょう。

消費税法

(1)第 72 回税理士試験出題内容

①第一問

問 1 特定課税仕入れに係る対価の返還等を受けた場合の消費税額の控除及び価格の表示の個別問題

問 2 国内取引の判定等の理解を問う事例問題

②第二問

問 1 原則計算(分割等、特定新規設立法人、軽減税率)

問 2 簡易課税制度(軽減税率)

(2)合格答案の傾向

①第一問

問 1 は、各規定の内容を精度高く解答すること、問 2 は、5 問中 4 問結論を正答し、判断根拠の説明ができていたことが必要であったと考えられます。

②第二問

問 1 は、納税義務や集計をある程度の割り切りをもって解答し、取引区分と適用税率の判定を正答していること、問 2 は事業区分と適用税率の判定を正答できていることが必要であったと考えられます。

(3)第 73 回税理士試験に向けての学習方針

理論は、幅広く出題される傾向であるため、満遍なく知識を習得することを念頭に、各規定の骨子を把握のうえ正確に暗記しましょう。また、事例問題のように状況に沿った判断が求められますので、理論の暗記は理解を伴うものであることが重要です。

計算は、教材掲載項目を漏れなく習得し、正答率を高めることが重要です。知識の定着を図ることが解答スピードの向上にも繋がります。また、時間の使い方など戦略面も非常に重要となります。

酒税法

(1)第 72 回税理士試験出題内容

①第一問

未納税移出に関する応用理論問題

②第二問

酒類の品目判定及び税額計算問題

(2)合格答案の傾向

第一問(理論)は、難易度がさほど高くはありませんでしたので各問につき十分に解答していた答案が合格答案となり得たようです。第二問(計算)は、ボリュームが多いものではなく、例年どおり正確な解答が必要ですが、税額計算に関する資料において難易度が多少高い箇所もあり、税額計算において2箇所程度のミスであれば最終値を合わせていなくても合格答案となり得たようです。

(3)第 73 回税理士試験に向けての学習方針

理論問題については、個別規定のインプットの完成度を高めるとともに、各規定に係る趣旨の理解とインプット、応用理論問題対策、そして題意を確実に読み取ることも必要です。計算問題については、最終値勝負でないとしても、ケアレスミスを防ぎ、迅速で正確な処理能力を養いましょう。

(1)第 72 回税理士試験出題内容

①第一問

問 1 督促をせず差押えをすることができる場合を
 列挙する個別複合問題

問 2 滞納処分の停止の要件及び効果を記述する個
 別問題

②第二問

問 1 合名会社等の社員の第二次納税義務を解答す
 る事例問題

問 2 清算人等の第二次納税義務及び無償又は著し
 い低額の譲受人等の第二次納税義務を解答する
 事例問題

問 3 無償又は著しい低額の譲受人等の第二次納税
 義務を解答する事例問題

(2)合格答案の傾向

第一問、第二問ともに難解な論点は出題されておら
 ず、すべての論点を精度高く解答できていることが合
 格の条件であったようです。

(3)第 73 回税理士試験に向けての学習方針

個別理論の出題もあるため理論対策も必要ですが、
 事例問題では基礎項目の深い理解が問われる傾向があ
 ることから、条文の丸暗記だけに学習が偏ることな
 く、理論テキストの解説ページを読み込み、制度趣旨
 等を理解したうえでの暗記が必要です。

(1)第 72 回税理士試験出題内容

①第一問

問 1 住宅借入金等特別税額控除

問 2 特定配当等、特定株式等譲渡所得金額

②第二問

個人住民税の総合問題

(2)合格答案の傾向

理論は制度の導入の背景や施行前の改正論点が問わ
 れており、難易度が高い問題でしたが、通常の学習範
 囲の部分は得点すべきでした。計算は解答量が非常に
 多く、また、判断に迷う資料もありましたが、基本項
 目を中心であったため、如何にミスなく素早く解答で
 きたかがポイントとなったでしょう。

以上を踏まえると、計算でミスを最小限に抑えた上
 で、理論で解答可能な個別理論を時間の許す限り解答
 した方が合格されているようです。また、理論・計算
 いずれかに偏ることなくバランスよく得点できている
 方が合格されたように感じられます。

(3)第 73 回税理士試験に向けての学習方針

学習した理論は当然に記述できることを前提とし
 て、直前の模擬試験で出題した論点は特に注意してお
 きましょう。計算については、過去問及び直前の模擬
 試験を繰り返し演習するとともに、ケアレスミスを減
 らす対策を講じておきましょう。

(1)第 72 回税理士試験出題内容

①第一問

問 1 (1) 個人事業税の課税標準の算定に係る所得税
 の所得の計算の例によらないもの

問 1 (2) 個人事業税の課税標準の算定に係る各種控
 除

問 2 納期限までに納付できなかった場合の延滞金
 の取扱い及び外形対象法人の徴収猶予に関する
 事例問題

②第二問

問 1 発電事業及び製造業を併せて行う外形対象法
 人の税額算定

問 2 特定内国法人である所得課税法人の税額算定

(2)合格答案の傾向

理論問 1 は A ランク及び B ランクからの出題であ
 り、完成度の高い解答が必要でした。問 2 は A ランク
 の「外形対象法人の徴収猶予」をしっかりと解答し、「延
 滞金」については自分の言葉で要領よくまとめる必要
 がありました。計算問 1 は解答量が多いため、税額ま
 で正解が出せなくても、「課税標準」「分割基準」等、
 必要な部分の解答ができていれば合格です。問 2 は税
 額まで正しく計算できている方は良い結果が出ていま
 す。

(3)第 73 回税理士試験に向けての学習方針

理論は「基本理論」を確実に覚え、その上で「事例
 形式」への対応が必要です。

計算は二問形式での出題のため、解答に時間がかか
 り、正確性も要求されます。外形標準課税の演習を中
 心に解答のスピードアップと正確性の向上を目指して
 学習を進めましょう。

(1)第 72 回税理士試験出題内容

問題内容に不備があったため、割愛させていただきます。

(2)合格答案の傾向

問題内容に不備があったため、割愛させていただきます。

(3)第 73 回税理士試験に向けての学習方針

計算においては迅速かつ正確に解答できる力を、理
 論においては暗記のみならず応用力を養うことが重要
 になります。やや難易度の高い応用問題が多くなって
 いますので、暗記の精度を高めることのほか、応用理
 論テキストの過去試験問題等を中心とした応用理論対
 策に取り組む必要があります。

オンラインイベント 講師に聞いてみよう！ 税理士講座の仕事

2022年11月27日と28日、私たち税理士講座の仕事を紹介するオンラインイベントを開催しました。

普段は講義や質問応対をしている私たちが、受講生皆さんの知らないところで、どんな仕事をし、これらが皆さんの合格にどうつながっているかを知っていただけたのではと思います。

また、就職や転職を検討中の方々には、「講師の仕事」を将来の選択肢の一つに加えていただけたら幸いです。こちらのイベントは今後も定期開催します。「講師の仕事」をチョット聞きたい方のご参加をお待ちしています。

プログラム

1. 業務紹介等
2. 税理士試験勉強のしやすさ
3. 質疑応答

O-HARA Career Staff

履歴書・職務経歴書の作り方

応募書類は、自分の第一印象を決める重要な書類です。自分の強みをしっかりアピールできるような内容にすることが、就職・転職を成功させる最大のポイントになります。書き方のポイントをおさえましょう。

履歴書を作る時のポイント

履歴書は、基本的なプロフィールを記載したものです。選考の可否に関わる重要な書類となりますので正確な情報を記載します。

人事担当者はまず、履歴書に書かれた限られた情報からあなたがどんな人物かを探ろうとします。写真・書き方・言葉遣い・内容など全てが判断材料となりますので丁寧に作成しましょう。

(1) 写真

写真と実際のイメージに大きな違いがないように3カ月以内に撮影したものを使用。ビジネスに適した服装で、スーツで撮影する際はジャケットやネクタイも着用する。

(2) 日付

郵送やメールで送る場合は送信日を、面接の時に手渡す場合は面接日を記載する。合わせて履歴書全体の年月を和暦か西暦のいずれかに統一。

(3) 現住所・連絡先

都道府県名やマンション名は省略しない。日中でも連絡の取れる連絡先を記載する。

(4) 学歴

中学校の卒業年月から記載する。高校・専門学校・大学は、学部・学科・専攻まで詳しく記載。「同校卒業」「〃」などと省略せず正式な表現で。入学年度や卒業年度の再チェックを忘れずに。

(5) 職歴

入社・退職の年度と会社名を正確に記載。「株」と省略しないこと。退職理由は、自分の意思で退職した場合は、「自己／一身上の都合により退職」、会社都合の場合は、「会社都合により退職」とする。

(6) 免許・資格

正式名称で取得順に記載。取得資格が多い場合は上位級のみ記入する。これから受験を控えている、受験が終わって合格発表を待っている資格は、その予定時期を記載する。

また、現在学習中のものがあればいつ頃から学習を始めたのかも書き込んで、アピールすることも可能。

(7) 志望の動機

応募した理由や入社後にしたい仕事は、面接時にいちばん重視される点なので、抽象的な言葉は避け、自分の思いを具体的に書く。

(8) 自己PR

これまでの経験や得た知識をアピールし、自分を採用するとこんなメリットがあると伝える。「〇〇を経験しました」「〇〇を学びました」だけの経験談で終わらない様に気を付ける。この項目は職務経歴書に記載しても可。

(9) 本人希望記入欄

募集職種や勤務地が複数ある場合は必ず記入。その他、勤務開始可能日や働き方などの希望があれば記載。

職務経歴書の作成ポイント

職務経歴書は、これまでの経験と身につけてきたスキルを記載した書類のことです。基本的に職務経歴が有る方が履歴書と一緒に提出します。

応募者が仕事内容に合うスキルや経験が有るかを確認するための書類です。

様式はA4用紙に横書きで。パソコンでの作成が基本です。

(1) 枚数はなるべく1～2枚程度に収める。

(2) 形式は、時系列にまとめる「編年体形式」か、担当した職務内容でまとめる「キャリア形式」が一般的。ご自身の経歴がより伝えられる形式を選びましょう。

(3) 経歴には、在籍していた会社名、事業内容、従業員数や資本金などの会社の情報を記載。(HPなどで確認してもわからない情報は記載しなくても可)

次に在籍期間や雇用形態、配属先、役職、実績、評価など自分の情報を記載。

(4) 志望動機や自己PR、パソコンスキルなど、履歴書に記載しきれなかった情報は職務経歴書に記載。

採用担当者に興味を持ってもらうにはまず、「見やすい」「分かりやすい」が大切です。書く内容はもちろんですが、レイアウトなども工夫しましょう。

就職・転職に関するご相談は

大原キャリアスタッフ

<https://www.o-hara.ac.jp/career/>

※エリアによりサービス内容が異なります。

次回のVol. 4号は3月発刊の予定となります。

WIN

ウィン Vol.3
●第27巻第3号通巻226号 ●2023年1月21日発行
●発行所/大原簿記学校 〒101-0065 東京都千代田区西神田1-2-10



最新の受験情報満載!

大原の税理士メルマガ 毎月無料配信中!

メルマガ登録はこちらから→<http://www.o-hara.ac.jp/goukaku>

大原 メルマガ 検索